

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にしていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
 支援員の安定雇用のために、公費による待遇改善を進めるべきである
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

当会派所属議員の中に学童保育を担当運営している議員、施設を提供している議員もあり、さいたま市の子育て施設の中の学童保育施設に関しては高い意識を持っています。さいたま市の学童保育は民設民営にシフトされており、公設クラブとの様々な格差が生じている事を認識しているところです。過度な保護者負担が生じないよう、また同じさいたま市の児童が安心して学童保育を利用できるよう更に取り組んでまいります。

ご署名自民党 さいたま市議会議員会

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にしていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

クラブの人数にかかるわざ、財政的支援は受けられるようにするべきと考えます。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

保育園が増えたから、学童保育も同じ年、増えたくなります。

どうみたいと考えます。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

子ども学童(保育園)に子供を預けては親はつらい、

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
 支援員の安定雇用のために、公費による待遇改善を進めるべきである
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

さいたま市には人の代わり立ちたいと思う人が多くいますが、まだ少ない

のではいけない

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

子供は本当に大切にして、存在ですが、朝が忙しいと身体も元気でないと、毎日が辛くてしまいます。
年もフル勤務で子供を保育園に預けて、学童保育に

ご署名 世古口まりか

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

統一

子供を預けにきた1人とC. 車見の経済的、精神的不安の解消は市が積極的に取り組んで下さいと強くお願いします。

北浦町小学校 "Hirayama" の後も、またしつかいで歩く、空き家をさがしたりとお原意にしてます。

私も市役所で電話で聞こえた時、「自分事とは思えていたが、なぜか、なぜか」と感心してます。

空き家バーカードも、きっと機能してますと見てます。

最近の市報のタイトルが「子供預け」「車見」「さがす」とあります。ただし、実際には多くあります。

声をあげていただきます。

よろしくお原意です。

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にしていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

私も子育てで学童を利用しました。学童の対象性は理解してます。利用する子どもたち、民間の場合料金も異なるので一律とは言えませんが、「成果連動型民間委託契約方式(PFS)」の導入も検討かと思います。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである(保護者等も負担せますと何より思います。公費でどうですか? 検討すべきだと思います)
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

施設の規模や利用する子どもの人数によると新設・分離・移転の必要があるかもしれませんと思います。

使う施設によって修繕費や改修費は異なるので、何より言えませんが、例えば更新料を支払ることは可能かと思ひます。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

公設と民設の格差はこそだけ解消すべきです。

民設クラブならば、度々や代金等もみると思いますが、地域の企業や団体と連携し、企画版ふるさと納税を使う(ネットワークを含む)ことの検討を必要だと思います。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである(資金があれば...)
 支援員の安定雇用のために、公費による待遇改善を進めるべきである
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである
(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

取り入れべきと思うのが、利用者数、立地場所等による条件は異なるので、チャックを入れなければなりません。

高校生や大学生と小学生が同じところ、お互い、トドックリメリットがあると思います。若々かの活用、連携も大事だと(勤務を教えて等)

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

勤労なさいたま市民の半数以上はさいたま市以外で働きています。其働き世帯にとって、学童は大切です。

一方、首都直下型地震などの大規模災害が発生した時、親は数日間帰宅できません。この点、学童にいる子どもたちの世話をどうするのか? 職員だけでは無理です。不測の事態を想定して、特に民設クラブは自治会・地域住民・地域企業・各種団体(ロータリークラブ等)との日常的な交流・連携が必要です。私は子どもたちを守る仕組みを必ず構築します。

署名 赤松宏和(浦和区、無所属、新人)

学童運営 ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

ありがとうございました。我がように、学童にお世話をしたOB OG層も支援できたらと思いました。

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にしていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

本来、「子どもの放課後の安全を守る場所」学童保育の提供は、行政が責任を持って行うべきだと考えます。

公設・民設・民間 各学童の運営を支えるための財政支出をしっかり確保することが必要。(46人以上の学童で 委託金が)

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

さいたま市では、新設・分離が、実態にて民間任せになつていて、特に、保護者運営の学童クラブでは大変な負担になつています。この現状をあらためる必要があると考えます。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

民間に大きく依存しておゆすから保育料が公立に比べてかなり高いことは、問題と考ふます。
委託金の増額や、支援員の処遇改善補助の大額な上乗せ、保育料への補助などで

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

さいたま市で、1番の問題は、支援員処遇改善の国の補助制度があるにもかかわらず、市がごく一部しか活用していないこと! 3年で約半数が退職する現状。働き続けようと給与の保障と、

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

現在44歳。北浦和小学校に通っていた当時「北浦和学童」に大変お世話になりました。季節ごとのイベント、たくさん手作りしたこと、本をたくさん読んだこと、ピアノ弾いたこと、走っていました。これまで3ナウンサーとしてTBSラジオ、イータ-FM、Reds wave、自分で取材し、編集し、発信していました。北浦和で「北浦和スターズ」、「リーハーズ」の2つの施設が存続の危機とさき、お詫びかられた所、新聞やラジオを見た方から、馬主車場やマンションなど、移転先の情報提供があったのです。施設探しが民間任せについての実態、改善していくだけ、「子どもの安全な場所」守ります。ご署名

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

3ナウンサーの経験も生かし

現場の声、生の声を取り、市政に届けられます

池田めぐみ

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にしていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

増額ありきで考え、減額はやめる必要がある。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

保育園、幼稚園入園時点できちんと数を把握して、5ヶ月計画、10ヶ月計画をする必要がある。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

事務処理など、管理するための支援センターをつくる。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による待遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

全て実行できたら良いと思うから、見極めて行動すべきである。

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

保護者の方たちの負担が重くなっているのは大問題であり、社会として、再考しないければならない。子育支援は国策として行おうとしているのですから行政がサポートして行う必要がある。

希望の学童保育所に入れなかったお母さんからお話を聞いて上で、アンケートに書かせて頂きます。

ご署名 山島 坦謹哉

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にしていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

安定した運営のために、育英支援体制強化事業等、委託金制度に関する事業については

財政的支援が適正かどうかの議論が必要だ"と思っております

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

新設・分設、公費については、今後も現場の皆様の声を伺い、公費が必要な事業については

どのような形か"望ましいのか"議論が必要だ"と思っております

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

さいたま市の予算の使い方、保護者負担の軽減についても、議論の必要性を感じております

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

人手不足の解消にむけて、現場の皆様の声をしっかりと聞きし対応しなければ"いけないと
考えております

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

日本維新の会はこれまで子育て政策を重点的に進めて参りました。

現在、維新の会としてもさいたま市の課題として学童保育について議論を行っております。

しかし現在は現職ではなく公認候補予定者という立場であり、詳細につきましては

今後も勉強を重ねてまいります。4月以降に担当部署等と勉強会を重ねて問題解消に

向けて取り組んで参ります。

ご署名 北岡くじゅう

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。